

# 2018年11月以降の再エネ出力制御の実施状況について

2018年12月13日

九州電力株式会社

1. 概要
2. 再エネ出力制御を伴う運用実績
3. 再エネ出力制御における公平性確保
4. 今後の再エネ出力制御に向けた対応

- 九州本土においては、2018年10月13日(土)に初めて再エネ出力制御を実施し、これまでに計8回実施。
- これを受けて、第18回系統WG(11月12日開催)において、11月4日までの計6回の再エネ出力制御の実施状況を報告。  
電力広域的運営推進機関においても、10月分の再エネ出力制御に関する指令の妥当性について検証が行われ、当社の対応は適切であったとの評価をいただいた。  
(検証結果は、11月21日に当該機関のホームページに公表)
- 今回、第18回系統WGにおける「事業者間の公平性等を見極めるためには、一定程度の実績の蓄積が必要である」とのご意見を踏まえて、11月以降の出力制御実施状況を報告。  
なお、11月分の再エネ出力制御指令の妥当性についても、電力広域的運営推進機関において検証が行われる予定。(12月下旬予定)

## 2. 再エネ出力制御を伴う運用実績

## 【11月以降の再エネ出力制御日の運用実績】

〔万kW〕

出力制御実施日	11/3(土) (12時～12時30分)	11/4(日) (12時～12時30分)	11/10(土) (12時～12時30分)	11/11(日) (11時30分～12時)
エリア需要	780	747	811	729
蓄電池・揚水	181	162	181	180
域外送電	200	202	182	198
小計①	1,161	1,111	1,174	1,107
供給力 (太陽光制御前)②	1,199	1,204	1,199	1,189
太陽光 (制御前)	532	546	538	514
制御量②－①	38 [55]	93 [121]	25 [81]	82 [100]

(注1) 再エネ出力制御量が最大の時間帯を記載

(注2) [ ] は、当日9時計画の制御量であり、出力制御実施時に指定ルールの一部を解除

(注3) エリア需給実績(2018年10月分)は、当社ホームページ(系統情報の公開)で公開済み  
 エリア需給実績(2018年11月分)は、2018年12月目途で当社ホームページに公開予定

### 3. 再エネ出力制御における公平性確保

○これまで計8回の出力制御において、発電所あたりの制御回数は同程度であり公平性を確保。

〔1発電所あたりの累計制御回数＝制御数／全制御対象発電所数〕

○今後、遠隔制御を活用した誤差織込量の低減を行いつつ、年度末に向けた制御機会(制御回数)の公平性確保を実施。

○風力についても太陽光と同様に交替制御を実施。(全風力について1回制御実施)

ルール区分		1発電所あたりの 累計制御回数	(参考) HP公表データ
旧ルール	現地操作	1. 5回	1～2回
	遠隔操作	1. 4回	1～2回
新ルール(風力のみ)		1. 0回	1回
指定ルール		1. 4回	1～2回

## 4. 今後の再エネ出力制御に向けた対応

### (1) 旧ルール事業者への出力制御の協力のお願い

- これまで計8回の出力制御において、前日指示に対する出力制御の実行率は、特高は100%、高圧は約92%。〔前回報告（11/4までの計6回）から2%増加〕
- 制御未実行事業者に対しては、確実な対応を促すための注意喚起・必要性の説明を継続的に実施し、次回の出力制御に対応していただいている状況。  
これまでの出力制御に複数回応じていない一部の事業者に対しては、対応体制の構築のお願いや出力制御の必要性の説明等の対応を実施し、それでもご協力いただけない場合は、契約解除を視野に厳正に対処する予定。
- 今後は、事業者の対応状況を踏まえ、データの蓄積を重ね、再エネ出力制御量に未実行相当量をあらかじめ織込む等の方策を検討。

### (2) 再エネ出力制御システムの更なる信頼度向上に向けた取組み

- 万一のシステム不具合発生時においても、事業者へ誤送信を行わない仕組み（フェイルセーフ機能）を来春目途で追加。
- なお、不測のトラブルが発生した場合でも、迅速に万全の対応がとれるよう、社員とメーカー技術員による対応体制強化を継続実施中。

## 4. 今後の再エネ出力制御に向けた対応（つづき）

- 年末年始は、需要が低く推移するため再エネ出力制御実施の可能性が高いことから、以下の対応を通じて、出力制御の確実な実施に向けた体制を整備する。

### (1) 再エネ事業者への事前連絡

- 電力の安定供給のために、当社からの出力制御指令に対して、確実に対応いただくための準備等のお願いを実施予定。（12月中旬目途にメールにて実施）

[3日前からのホームページでの出力制御見通しの公表は通常通り実施]

### (2) 対応体制

- システムトラブルへの対応として、社員及びメーカー技術員による対応体制の強化を実施。